

## ジブチ月例報告 (2025年6月)

在ジブチ日本国大使館

### 【内政】

- 6月3日、ジブチ政府は、公共行政の近代化のため、公務員の人的資源管理改革を承認した。年功と功績を組み合わせた階級昇進、選抜プロセスによる等級昇進の導入、全職員への年間評価面接の実施、五段階業績評価、公平な報酬・社会福祉制度確立等による公務員制度の効率化、透明性向上を目標としたもの。
- 6月7日、ゲレ大統領は、第一回国家グッドガバナンスデーにおいて主要国営企業・機関の責任者を招集し、ガバナンス強化に関する演説を行った。演説では、競争力、デジタルイノベーション、AI等を課題として挙げ、国営企業の近代化による改革の必要性を強調し、改革の3つの柱として、効率性とパフォーマンス、透明性と説明責任、企業の共通利益への認識を挙げた。
- 6月17日、2024年に実施された第3回国勢調査の結果が正式発表された。今次調査によるとジブチの人口は約107万人。
- 6月17日、ゲレ大統領は第12回閣議において、2025-2030年国家開発計画(PND)は経済の多様化、人的資本の開発、持続可能な開発及び気候変動へのレジリエンスの促進及びガバナンスとビジネス環境の強化という4つの戦略的軸を中心に構成することを提示した。
- 6月27日、ゲレ大統領は、ジブチ独立48周年を祝う演説において、独立闘争の殉難者を追悼し、国際連帯を呼びかけ、中東やスーダンでの紛争、特にガザ情勢への懸念を表明した。国内問題に関し、世界経済の不確実性への対応、気候変動、移民、安全保障問題への対処、経済多角化への投資の継続を強調した。

### 【外政】

- 6月1日、バレ・ソマリア首相がジブチを訪問し、ゲレ大統領と会談を行った。一行はさらにアルタ市を訪問し、ソマリア和平会議会場を視察した。
- 6月2日、オマール労働大臣(制度・社会保障担当)は、ジュネーブで開催された第113回国際労働会議に参加し、持続可能な経済への公正な移行、労働者の保護、社会対話、職場における平等と包括性についてILO加盟国の代表団と議論を行った。
- 6月9日、モハメド環境・持続可能開発大臣は、ニースで開催された第3回国連海洋会議に参加した。公海における生物多様性の保護に関する国際条約の批准が主な議論のテーマであった。
- 6月11日～13日、オマール外務・国際協力大臣は、FOCAC閣僚級会合に参加し、王毅中国外交部長と会談した。同会談では、両国の戦略的パートナー

シップ、アフリカの角における I G A D 議長国としてのジブチの取組、パレスチナの国家承認、国際調停機関設立等に関して意見交換が行われた。

●6月21、22日、オマール外務・国際協力大臣は、第51回イスラム協力機構（O I C）外相理事会に参加し、ジブチはパレスチナ支持へのコミットメントを再確認した。

●6月29日、オマール外務・国際協力大臣は、サウジアラビアを公式訪問し、ファイサル・ビン・ファルハーン・アール・サウード王子（外務大臣）と会談した。両者は二国間関係強化、特に紅海とアデン湾の海上安全保障、地域安定、経済連携について協議し、協議の定期開催を決定した。

●6月29日、ブリュッセルで開催されたスーダンに関する国際諮問グループ第4回会合において、ジブチは、即時停戦と対話再開への支持に加えて、包括的なアプローチと地域的、国際的な協力強化を訴えた。

#### 【経済・開発】

●6月10日、ジブチ・アグロビジネス・フォーラム2025が開催され、イノベーション及びアグリビジネスを通じた経済変革に焦点を当てた議論が行われた。アフリカの角全域、ノルウェー、米、ヨルダン、トルコ、エジプト等からの専門家、投資家、機関代表者、起業家等が同フォーラムに参加した。

●6月15日、ジブチ訪問中のモハメド（M. Mohamed Issa）エジプト電力・再生可能エネルギー省国際関係部長は、ヨニス・エネルギー大臣（天然資源担当）と会談し、300kw相当のオマール・ジャガ太陽光発電所建設事業等の進行中の事業について議論し、エネルギー分野における協力の更なる強化に合意した。

●6月18日、イリヤス経済・財務大臣は、ドーハ外遊中にカタール開発基金（Q F F D）事務局長と会合を行い、両国間の経済関係を強化する意思を示した。

●6月21日、モロッコで開催されたアフリカ仏語圏商工会議所常設会議（C P C C A F）においてジブチ商工会議所のユスフ会頭が議長に選出された。

●6月26日、ヨニス・エネルギー大臣（天然資源担当）は China Urban-Rural 社の訪問を受け、アッサル湖で産出される塩の利用等について議論した。

#### 【保健・衛生・社会】

●6月2日、アブドゥルカデル首相は、ヘルメスWHOジブチ事務所長との間で、公衆衛生システムの近代化支援という目標の下、WHOのジブチにおける優先事項の現状把握を目的とした会談を行った。

●6月11日、アライタ前駐日ジブチ大使は、主権炭素機関事務局長として La Nation 紙によるインタビューに応じ、アフリカにおける炭素排出権について透明性が必要であるという見解を示した。

### 【軍事・治安】

- 6月6日、ジブチ軍は、創立48周年祝賀式典を実施した。アブドゥルカデル首相、ブルハン国防大臣、各国武官等が参加した。
- 6月22日、ジブチ警察は、創立48周年を祝う式典を実施し、首相代理としてバードン法務・刑務大臣、サイド内務大臣、アブドルラフマン国家警察長官、ディレイタ国民議会議長、ザッカリア統合参謀総長等が参加した。

### 【日本関係】

- 6月10日、EU代表部、ジブチ政府及び在ジブチ日本大使館が「海洋における緊急危機管理に関するシンポジウム」を共催した。同シンポジウムにはジブチ政府高官、外交団、各国駐留軍司令官等が参加し、環境リスク、海賊行為、船舶事故（横断的課題含む）の3パネルに分けて実務者による発表が行われた。日本からは、松本DAPE司令、富田国際海洋汚染対策官が発表を行った。
- 6月13日～同16日、ディレイタ国民議会議長は、外務省招へいの枠組みで訪日し、岩屋外務大臣、中谷防衛大臣、額賀衆議院議長、関口参議院議長、田中JICA理事長と面談し、日ジブチ友好議連、日ジブチ友好協会関係者とも会談を行った。ファトゥマ・ジブチ日友好議連会長、イドリス同副会長、カドラ国民議会事務局儀典担当がディレイタ議長に同行した。
- 6月13日、原大使は、キャッシュマン米軍CJTF-HOA司令官離任に際する表敬訪問を受けた。原大使は、ジブチにおける日本大使館及び自衛隊拠点との同司令官の協力、連携に対し、深い謝意を表明した。
- 6月18日、原大使は、離任するUNDPジブチ事務所代表の表敬訪問を受け、長年にわたる日本とUNDPとのパートナーシップ、ジブチが直面する機会と課題等について意見交換が行われた。
- 6月22日、原大使は、ダル・エル・ハナン産科病院で開催された、無償資金協力「ジブチ市三次医療病院における医療機材整備計画」を通じて調達された医療機材の引渡式に出席した。アフメッド保健大臣及び井上JICA事務所長も参加した。
- 6月23日、原大使は、JICA海外協力隊のジブチ派遣25周年記念レセプションを開催し、フクザワ中学校、ディキル保健センター、視学官事務所に対し、在外公館長表彰を行った。ディレイタ国民議会議長、ハッサン・インフラ設備大臣、隊員受入れ機関の代表者等が参加した。
- 6月24日、原大使は、無償資金協力「パルマレ道路橋梁建設計画」の起工式に出席した。同式典には、ハッサン・インフラ・設備大臣、スバネ・ジブチ道路公社(ADR)局長、井上JICAジブチ事務所長が参加した。

(了)